

川端龍子展

かわばた
りゅうし

誕生
140周年

開館時間：10時～日没後30分（展示室への入場は日没時刻まで） 休館日：火曜日

主催：島根県立美術館、日本海テレビ、山陰中央新報社、SPSしまねグループ

後援：朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、産経新聞社、中国新聞社、新日本海新聞社、島根日日新聞社、NHK松江放送局、TSKさんいん中央テレビ、BS山陰放送、エフエム山陰、山陰ケーブルビジョン

特別協力：大田区立龍子記念館 企画協力：株式会社アートワン



RYŪSHI KAWABATA

2025
7.18 金曜日
8.25 月曜日

この画家、
規格外!!

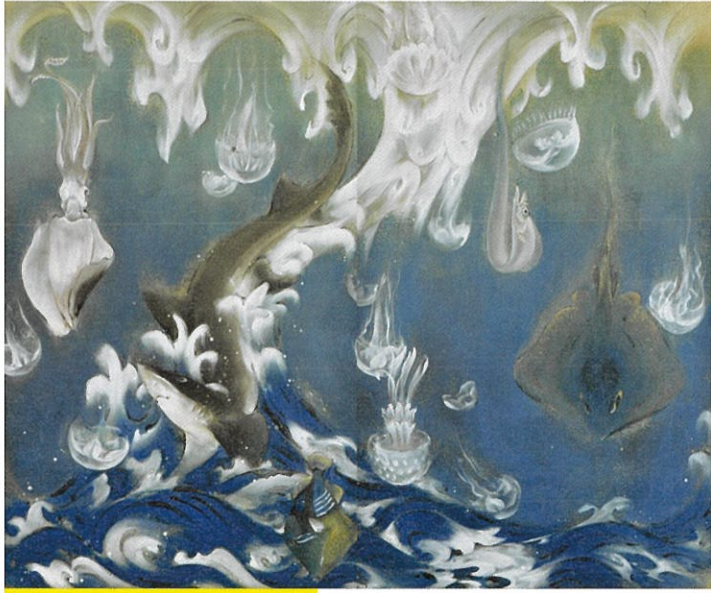
川端龍子
《南飛図》(部分)
昭和6(1931)年
和歌山市立博物館蔵



島根県立美術館



草の実 昭和6(1931)年、大田区立龍子記念館蔵



龍巻 昭和8(1933)年、大田区立龍子記念館蔵

川端龍子(1885~1966)は、大正期から昭和期にかけて活躍した日本画家です。洋画家としてその画業をスタートさせた龍子は、大正初期に日本画への転向を果たし、大正4(1915)年には再興第2回日本美術院展覧会に初入選を果たします。しかしながら、日本美術院での「鶏に孵された家鴨の子」のような扱いなどに不満を抱き、昭和3(1928)年に同人辞退の意思をとり、再興日本美術院を脱退。そして翌年の6月28日、在野の日本画団体「青龍社」を自ら創設しました。展覧会の鑑賞スタイルが時代とともに変化していることを見抜いた龍子は、青龍社展覧会を舞台に「会場芸術」の名のもと極めて意欲的な作品群を次々に発表していくこととなります。本展では、高等小学校時代の手習い書から最後の青龍社展出品作までの作品群を通して、80年という歳月のなかで龍子がどのような「日本画」の姿を探求していったのか考えていきます。

作者は全て川端龍子



《龍巻》制作中の龍子(昭和8年)

観覧料
※コレクション展観覧料を含みます

オンラインチケット・ローソンチケット

一般 1,100円
大学生 800円
小中高生 400円

※オンラインチケット・ローソンチケットは2025年6月18日から販売。オンラインチケットはホームページより、ローソンチケットはローソン各店にてお求めいただけます(ローソンチケット/Lコード62267)

当日券

一般 1,450円(1,160円)
大学生 1,100円(880円)
小中高生 500円(400円)

※未就学児無料 ※()内は20名以上の団体料金
※小中高生の学校教育活動での観覧は無料 ※身体障害者手帳(障害者手帳アプリ:ミライID)、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、及びその付添の方は1名まで無料

第一日 大正5(1916)年、大田区立郷土博物館蔵



《狩人の幻想》昭和23(1948)年、和歌山県立近代美術館蔵



《逆説・生々流転》(部分)昭和34(1959)年、大田区立龍子記念館蔵

川端龍子展

かわばたしゅうせい

イベント情報

オープニングギャラリートーク
日時 7月18日(金)10時頃
講師 木村拓也氏・大田区立龍子記念館副館長兼学芸員
会場 企画展示室 ※要企画展観覧料

記念講演会「日本画家・川端龍子の会場芸術」
日時 7月19日(土)14時(30分前開場/約90分)
講師 木村拓也氏 ※聴講無料
会場 美術館ホール(190席/当日先着順) ※聴講無料

美術講座「川端龍子と落合朗風」
日時 8月10日(日)14時(30分前開場/約90分)
講師 五味俊晶(当館主任学芸員) ※聴講無料
会場 美術館ホール(190席/当日先着順) ※聴講無料

当館学芸員によるギャラリートーク
日時 7月27日(日)、8月16日(土) 各日14時(約60分)
会場 企画展示室 ※要企画展観覧料

美術館キネマ「天心」(2013年/122分/日本/DVD)
日時 7月26日(土) ①10時30分 ②14時 ※鑑賞無料
会場 美術館ホール(190席/当日先着順/各回30分前開場)

かぞくの時間

子どもといっしょの鑑賞優先時間
作品についてお子様とおはなししながら鑑賞いただけます。
日時 毎日10:00~12:00 ※休館日を除く
対象 0歳児からのお子様とその家族
会場 コレクション展示室・企画展示室 ※閉室期間を除く

交通案内
●JR松江駅徒歩約15分
●JR松江駅から松江市営バス(南循環線内回り)6分→「県立美術館」下車
●観光ループバス(レイクライン)→「県立美術館前」下車
●山陰道→松江西ランプから車で約5分

駐車場
●国道9号袖師交差点を南進(駐車場より地下道をご利用ください) ※3時間まで無料

次回展覧会 永田コレクションの全貌公開(第二章) 北斎-「葛飾北斎期」・「戴斗期」編
9月10日(水)~11月3日(月・祝)

